

蓑山大明神と屋島稲荷

屋島寺の本堂の横には、赤い鳥居のトンネルが続く小さな祠がある。通常、ここは稲荷神社の入り口で、道の両側にはキツネの像が置かれるはず。しかし、この神社の入り口には、2体の大きなたぬきの像が並んでいる。ここで祀られている蓑山大明神は、たぬきの姿をしているが、自由に変身できると信じられていたこの地の伝説の神様である。家庭生活や結婚、夜の商売などにご利益があると言われている。

日本では変幻自在のたぬきはいたずら好きなイメージがあるが、伝説によると、蓑山大明神は僧侶の空海（774-835）が屋島の霧の中で迷子になったときに助けてくれたそう。蓑山大明神は、マントを着た老人の姿で空海の前に現れ、無事に屋島の頂上まで導いたという話である。スタジオジブリのアニメ映画『平成狸合戦ぽんぽこ』（1994）にも登場した伝説のたぬきの物語は他にもある。「ぽんぽこ」では、東京の郊外開発を阻止するために、変身するたぬきたちが協力している。

蓑山大明神の裏手に屋島稲荷神社がある。鳥居のトンネルまでたどり着くには、屋島寺の参拝者が設置したたぬきの像の小さなコレクションの前を通る必要がある。屋島稲荷神社は、奥まった竹林の中にあり、静かな雰囲気を出している。